

ななむら

第68号
発行：照来地区公民館
責任者：館長
☎ 92-1738

令和3年2月1日現在
世帯数 531世帯
人口 1,473人
(男681人、女792人)

『冬季夢オリンピック』が開催されました！

2月21日（日）温泉地域子どもチャレンジスキルアップ実行委員会主催の「冬季夢オリンピック」が、照来小学校のグラウンドと体育館において開催されました。

これは、温泉地域の子ども・保護者・地域住民を対象に、地域ぐるみで誰でも気軽に雪上競技や陸上競技に親しむことを目的に開催するもので、小中学生18名と保護者、スタッフ合せて約50名の参加がありました。新型コロナの影響で、参加者が少ないのではと心配しましたが、多くの方に参加いただきました。

種目は、グラウンドでの雪上種目5種目と体育館で2種目の計7種目ありましたが、参加者の皆さんは楽しそうに競技をしていました。（特に、保護者・スタッフの皆さんが）

地元では、雪が降ることを嫌う方が多いですが、今回の「夢オリンピック」は、雪が降る地域だからこそできることではないでしょうか。こうした逆転の発想で色んなことを考えていかなければならないと思います。

今後は、学校、地域が連携して過疎を逆手に取った取り組みをしなければならないと思います。皆さん、良いアイデアがあればご連絡ください。それから、なんと、今回、毎日放送、サンテレビ、ケーブルテレビの3局が取材にいられていました。

テレビ取材



スノーフラッグス



パシュート・ストラックアウト



パシュート・ストラックアウト



雪玉入れ

照来地区公民館が野生動物の被害に!

先日、照来地区公民館に行ってみると、下駄箱に入っていたほとんどのスリッパが玄関に散乱していました。誰がこんなことをするのかと思いつつ、廊下を見ると天井の一部が落下しており、恐る恐る大会議室に入って見るとここも天井の一部が落下していました。廊下には、野生動物の糞がありました。間違いなく野生動物の仕業です。

12月頃から屋根裏で野生動物が走る音や臭いがしていましたのでいることはわかっていました。

1月以降大雪やコロナの影響で、地区公民館の使用もなく野生動物にとっては楽園となっていたようです。

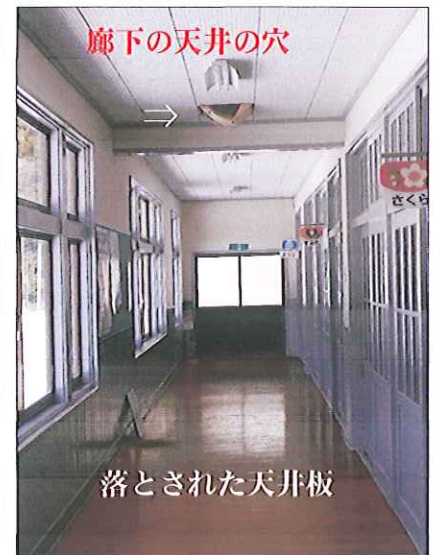
しかし、どうやって天井裏に帰っていったのでしょうか？不思議です。大会議室は、写真でもわかるようにカーテンを伝って帰れますが、廊下に下りてきた野生動物はどうやって帰ったのかわかりません。「大会議室から帰って行ったんだがな」と思った方もいたのでは・・・。違います。大会議室の引き戸は閉っていました。

今後、地区公民館を使用される団体の皆さん、使用されるまでに修理ができていない可能性がありますので、気を付けてご使用ください。



大会議室の天井の穴⇒

落とされた断熱資材



廊下の天井の穴

落とされた天井板

3月の行事予定

会議を予定しています

■照来地区公民館推進委員会

日時:3月24日(水) 19:00~

場所:照来地区公民館



児童本をいただきました!

桐岡の長谷坂盛之さんから、児童本84冊寄贈していただきました。今までにも照来地区の皆さんから沢山の本を寄贈していただきましたが、児童本が少なく、子どもたちが来て読む本がないと思っていたところでしたので、非常にありがとうございました。



ご連絡

「メディカルヨガ教室」 3月から再開します。

開催日 3月16日(火) 19:30~

場所 照来地区公民館

☆マスクの着用をお願いします。

☆初めての方も気軽にご参加ください!

※ななむらうぐいす会のカラオケ練習は、もう少し様子を見たいと思います。

照来の歴史 (22) 『照来盆地の成立ち』

以前、照来の歴史⑦で「古照来湖」のことを紹介しましたが、今回は、「照来盆地の成立ち」を調べてみましたので紹介します。

1 およそ300万年前

現在の照来地域を囲むようにして、照来、八田、小代地域で火山活動が活発に起こり、照来盆地がすっぽりとする「照来カルデラ」ができました。その周囲は火山岩が取り巻き、八田、小代、村岡の一部を含めた南北20kmにも及ぶカルデラとなりました。この頃に草太山が噴火したと言われています。

2 およそ200万年前

この「照来カルデラ」に水が溜まり湖となり、「旧照来湖」(古照来湖)ができました。

この頃、小代地域や鉢伏山、氷ノ山が噴火していますが、愛宕山も噴火し、照来盆地の形ができています。

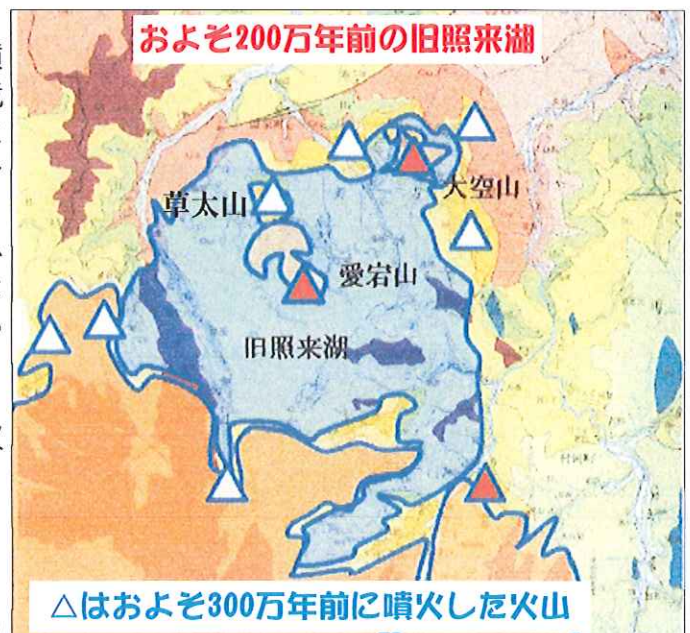
3 およそ120万年前と40万年前

およそ120万年前と40万年前の2回、扇ノ山が噴火し、上山高原や畑ヶ平高原、そして、多くの滝がこの噴火の溶岩によりできました。この噴火により、照来と八田の間を溶岩が流れ出し、中辻～塩山～飯野の西側に尾根ができました。

その後、旧照来湖の水は、一番低い飯野方面へ流出する余水が幾多の変遷を経て川幅を広げ谷を削り、それを繰り返すうちに谷が深くなり湖水も干上がって、現在の照来盆地ができ上がりました。

4 およそ5万年前

鳥取の大山で大規模な噴火があり、照来にも火山灰が降って来ました。この火山灰はクロボコ(黒土)というもので、照来の平坦なところには、今でも残っています。



※海上で昆虫化石が出るのは皆さんご存知のとおりですが、照来も海上と同じ「旧照来湖」の中ですから、照来のどこでも昆虫化石は出るそうですよ! 探してみませんか?